

ふれあい交流会（三世代交流会）

H23.10.27

村松小4年生33名、75歳以上高齢者76名はじめ関係者全員で200名が集まり、児童の発表会や高齢者との合唱を楽しみました。その後の昼食では児童に配膳を手伝っていただき恒例のカレーライスパーティが開催されました。食後は各テーブルごとに児童と高齢者の交流が行われ、昔の道具などについて児童からの質問に対して高齢者が丁寧な説明をとおして会話が弾み有意義なひと時を過ごすことができました。このような集まりをベースにして地域でお互いに交流が深まるように願っています。



これからの地域福祉活動を考える会

H23.11.12

どのように福祉のまちづくりをするかを考える目的で毎年開催、今回は地区活動5年目の節目の年、又大震災を経験した年から、大震災の経験を如何に地区社協活動に生かし力を入れたいことや日頃できることをテーマに37名の参加者が5グループに分かれ活発な話し合いがなされた後、各グループから発表されました。結果として“日頃からとなり近所とのコミュニケーションを取ることが大切だ”“次世代へ震災の経験を伝承する”などたくさんのお意見が出されました。



地区社協リーダー養成アカデミー開催

H23.10.26～H23.12.21

各地区社協から推薦された18名（当地区3名）が参加し5回に分けて開催されました。地区社協運営に人材育成が必要不可欠であり課題でもあり、より質の高い活動展開に資することを目的に主な学習内容として、地域福祉を取巻く現状と課題・これからの推進の視点、更に先進地視察研修として佐倉市地区社協を視察しました。

特別講演として、「阪神淡路大震災の経験をいかに生かすか」を聴講しました。



長寿ふれあい敬老会

H23.11.9

75歳以上の高齢者330名を招待し、参加した78名が真崎コミセンと舟石川三区集会所に集まって久しぶりにお会いできた人たちで会話を楽しんでいます。

真崎コミセンではシルバー体操や懐かしい歌を歌い、昼食はお赤飯でお祝いの後、フラダンスを観賞し楽しみました。

舟石川三区集会所ではハーモニカ演奏、寸劇、頭の体操 はてな？はてな？で盛り上がり昼食後はビンゴゲームで楽しみました。

最後に記念品のプレゼントがあり元気に帰路につきました。

会場に参加できなかった方々へは民生委員・ボランティアが家庭訪問しお祝いの記念品を届けて喜ばれました。



ふれあい福祉まつりに参加

H23.10.16

村社協主催「ふれあい福祉まつり」に参加、チャリティバザーを行いました。真崎地区自治会（真崎区、舟石川三区、荒谷台区の各自治会）の皆さんからの寄付物品を福祉まつりに来場された村民の皆さんにお買い上げいただき、その売上金はすべて被災地（宮城県亘理町）への義援金として寄付いたしました。

“被災した人たちのために何かしたい” そんな思いが集まったチャリティバザーでした。

寄付物品は予想を大幅に上回る数量にもかかわらず完売いたしました。

ご協力いただいた地区住民の皆さんにお礼を申し上げます。



第5回健康ウォーキング

H23.10.29

さわやかな秋晴れの中、集合場所を荒谷台住宅と真崎コミセンの2か所に設け実施、真崎コミセンで合流し真崎火の見下の道標から阿漕ヶ浦方面、旧村松小跡碑から白方溜へ、豊受皇大神宮を經由し新旧白方小学校周辺を散策しました。史跡・旧跡で立ち止まり話をお聞きし、大神宮ではちょっと寄り道をして参拝、和やかに老若男女21名全員、約2時間のコースを歩き抜きました。

